

**Oracle® Enterprise Single Sign-on
Kiosk Manager**

ユーザーガイド

バージョン 11.1.1.2.0

E12623-02

2010年 11月

このプログラム(ソフトウェアおよびドキュメントを含む)には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記載された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段(電子的または機械的)、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかるとして使用する場合、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるとしての使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

ドラフトのアルファ版およびベータ版ドキュメントはプレリリース状態のもので、これらのドキュメントは、デモおよび暫定使用のみを目的としたものです。タイプミスやデータの不正確さなど、いくつかの誤りが存在することがあります。このドキュメントは予告なく変更する場合がありますが、当ソフトウェアを使用するハードウェアに限定するものではありません。オラクル社はプレリリースのドキュメントに対して、いかなる目的や方法においても保証しません。またこのドキュメントを使用したことによって損失、費用および損害が発生した場合も一切責任を負いかねますのでご了承ください。

Oracle, JD Edwards, PeopleSoft, Siebellは米国Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性がります。

このプログラムは、サード・パーティ第三者のWebサイトへのリンクやし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社はその第三者のWebサイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。それら当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。サード・パーティ第三者の製品またはサービスを購入した際は、サード・パーティ第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、サード・パーティ第三者の製品およびサービスの品質、契約の遂行履行(製品の納品、またはサービスの提供、保証義務を含む)に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Table of Contents

略称と用語.....	4
ESSO-KM について.....	5
デスクトップ マネージャ.....	6
セッションを終了する.....	8
[セッション所有者] ウィンドウ.....	9
システムトレイ アイコン メニュー.....	10
セッションのロックとロック解除.....	11

略称と用語

以下は、一般的に使用される略称と用語の一覧です。

略称または用語	正式名称
管理コンソール	ESSO-LM Administrative Console
Agent	ESSO-LM Logon Manager Agent
FTU	初回利用ウィザード
ESSO-AM	Oracle Enterprise Single Sign-on Authentication Manager
ESSO-Anywhere	Oracle Enterprise Single Sign-on Anywhere
ESSO-PG	Oracle Enterprise Single Sign-on Provisioning Gateway
ESSO-KM	Oracle Enterprise Single Sign-on Kiosk Manager
ESSO-LM	Oracle Enterprise Single Sign-on
ESSO-PR	Oracle Enterprise Single Sign-on Password Reset

ESSO-KM について

Oracle Enterprise Single Sign-on Kiosk Manager (ESSO-KM) は、キオスク環境の従来のシングル サインオフのニーズに対応するソリューションで、セキュリティに優れ、使いやすく、管理も容易です。

ESSO-KM を終了することができるのは、管理者のみです。

自分のセッションにログインするには、管理者が同期セットアップを用意する必要があります。ESSO-KM へのログインに ESSO-LM を初めて使用する場合、ESSO-LM セットアップウィザード (FTU) が表示されます。画面の指示に従います (必要に応じて [ヘルプ] をクリックしてください)。[\[第 1 のログオン方法\]](#) にふさわしい認証方法を選択します。

デスクトップ マネージャ

デスクトップ マネージャ は、ESSO-KM セッションを管理するログイン ダイアログです。エンド ユーザーはセッションの開始とロック解除を行うことができます。管理者は、セッションの終了、ESSO-KM のシャット ダウン、再起動および終了が行えます。

デスクトップ マネージャ には、以下のような情報と選択肢が表示されます。

[管理] メニュー

デスクトップ マネージャ 上部にある [管理] メニューをクリックします。このオプションが表示されるかどうかは、システムの構成によって異なります。



コンピュータをシャットダウンする	キオスクをシャットダウンします。確認ウィンドウが表示され、コンピュータを停止するかどうか尋ねられる場合があります。この動作を実行する前に、[管理者として承認] ダイアログが表示され、管理者資格情報の入力を求められる場合があります。
コンピュータを再起動する	キオスクを再起動します。確認ウィンドウが表示され、コンピュータを再起動するかどうか尋ねられる場合があります。この動作を実行する前に、[管理者として承認] ダイアログが表示され、管理者資格情報の入力を求められる場合があります。
セッションを終了する	管理者は開いているセッションを終了することができます。この動作を実行する前に、[セッションの終了承認] ダイアログが表示され、管理者資格情報の入力を求められます。
Session Manager の終了	管理者はESSO-KMセッションを終了することができます。[管理者として承認] ダイアログが表示され、管理者資格情報の入力を求められます。
パスワードのリセット	システムの構成によっては、このオプションが表示されることがあります。このオプションは、ESSO-PR Web アプリケーションを起動し、そこでパスワードをリセットできます。以下の「パスワードのリセット」を参照してください。

セッション ログオン

デスクトップ マネージャ には、開いている全セッションを示す一覧があります。リストに名前がない場合は、名前を入力すると新しいセッションを開始します。セッションを開始すると、[サーバーに接続] ダイアログが表示され、パスワードの入力を求められます。パスワードを入力して [OK] をクリックします。

[ログオン] テキストフィールド	[開いているセッション] リストに名前がない場合は、ユーザー名をこのフィールドに入力し、[ログイン] をクリックします。新しいセッションがあなたに割り当てられます。このフィールドは編集可能です。
[ログオン] ボタン	このフィールドにユーザー名を入力したら、このボタンをクリックします。[開いているセッション] リストのユーザー名をダブルクリックすると、この機能が自動的に起動します。
[キャンセル] ボタン	処理中のログオンを終了できます。このボタンは、ログオンが開始すると有効になります。
[開いているセッション] リスト	[開いているセッション] リストには、このマシンでセッションを開いているすべてのユーザー名が含まれます。リストにあるユーザー名をワンクリックすると、[ログイン] フィールドにそのユーザー名が入ります。ダブルクリックすると、セッションを開こうとします。

パスワードのリセット

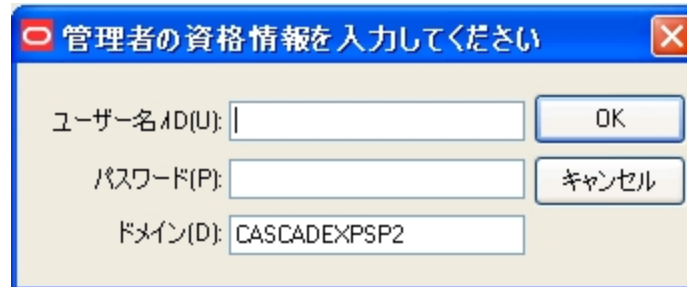
デスクトップ マネージャ の上部に [パスワードのリセット] バナーが表示されるかどうかは、システムの構成によって決まります。

このバナーをクリックすると、ESSO-PR Web インターフェイスが起動します。[ユーザー名]を入力して、[OK]をクリックし、画面の指示に従ってパスワードをリセットします。

セッションを終了する

[管理] メニューから [セッションを終了する] をクリックすると、デスクトップ マネージャ から ESSO-KM ユーザー セッションを終了することができます。

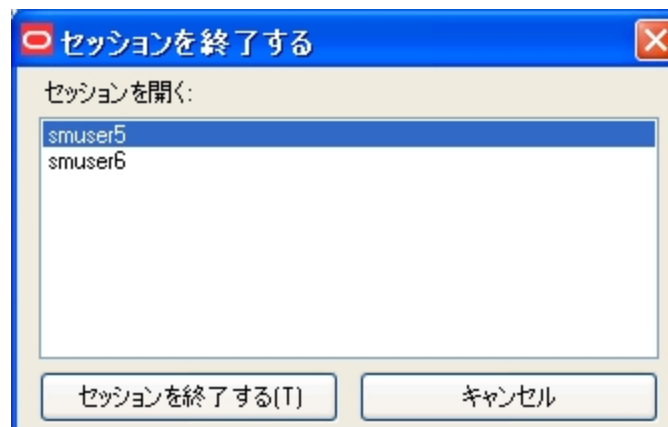
クリックすると、[管理者として承認] ダイアログが表示され、管理者資格情報の入力を求められます。



A dialog box titled "管理者の資格情報を入力してください" (Please enter administrator credentials). It contains three input fields: "ユーザー名ID(U):" (User Name/ID), "パスワード(P):" (Password), and "ドメイン(D):" (Domain). The domain field is pre-filled with "CASCADEXPSP2". There are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

[ユーザー名/ユーザー ID]、[パスワード]、および [ドメイン] を入力します。[OK] をクリックします。

[セッションを終了する] ダイアログが表示され、終了するセッションを選択するよう求めてきます。

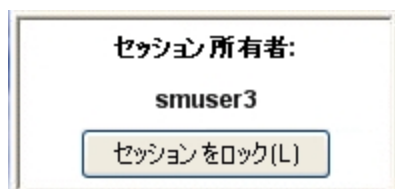


A dialog box titled "セッションを終了する" (End Session). It contains a list box labeled "セッションを開く:" (Sessions open:). The list contains two entries: "smuser5" and "smuser6". At the bottom, there are two buttons: "セッションを終了する(T)" (End Session) and "キャンセル" (Cancel).

一度に選択できるセッションは1つのみです。[開いているセッション] リスト ボックスからセッションを選択し、[セッションを終了する] をクリックします。このセッションは、[開いているセッション] リストから削除されます。

[キャンセル] をクリックしてこのダイアログを閉じます。

[セッション所有者] ウィンドウ



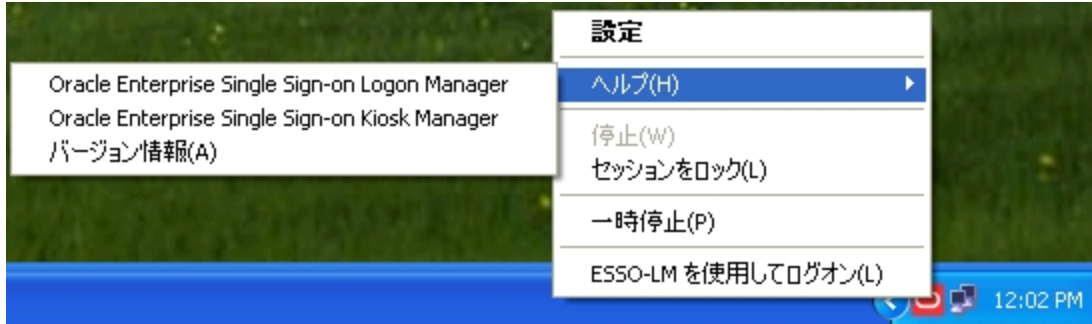
システムの構成によっては、セッション中、デスクトップの右上角に[セッション所有者] ウィンドウを表示できます。

セッション所有者の表示をロックしたり、自分のセッションをこのウィンドウからロックすることができます。

システムトレイアイコンメニュー

システムの構成によっては、システムトレイに Agent アイコンが表示されることがあります。Windows システムトレイのセッショントレイアイコンをクリックすると、プログラム機能のショートカットメニュー表示されます。

システムトレイアイコンのツールヒントには、「ESSO-KM - ユーザー名」のように、ログインしているユーザーの名前が表示されます。「ユーザー名」には、ユーザーの姓名が表示されます。この情報は同期データから取得します。同期が実行されていないと、ユーザー名は表示されません。



システムトレイメニューのオプション

設定	v-GO SSO マネージャを起動し、保存されているアカウントの表示、アカウントの追加、削除、修正、さらに、構成設定の管理を行います。
ヘルプ	以下のオプションを含むサブメニューを表示します。 Oracle Enterprise Single Sign-on - ESSO-LM のヘルプファイルを表示します。 Oracle Enterprise Single Sign-on Kiosk Manager - ESSO-KM のヘルプファイルを表示します。 バージョン情報 - ESSO-LM と ESSO-KM に関するバージョン情報を表示します。
シャットダウン	このオプションは、ESSO-KM が実行中である間は無効です。
一時停止	自動プロンプト機能や自動認識機能、およびその下の ESSO-LM メニュー オプションを使ったログオンなど、ESSO-LM ログオンをオフにします。
セッションをロック	現在のセッションをロックします。
ESSO-LM を使ったログオン	ログオン要求に対し、ESSO-LM を介して情報を提供します。

セッションのロックとロック解除

次の方法でセッションをロックします。

- [セッション所有者] ウィンドウの [セッションをロック] ボタンをクリックします。
- ESSO-KM トレイ アイコン メニューをクリックし、[セッションをロック] をクリックします。
- スマートカード、近接カードその他の存在検出認証方式を使った構成では、強力な認証方式が存在しなくなる（リーダーから外されているか範囲外にある）と、ESSO-KM は自動的にセッションをロックします。
- スクリーンセーバー タイマ。キオスクのスクリーンセーバーが正常に開始されると、ESSO-KM がセッションをロックします。
- [Windows] キー + 「L」 (Windows XP の場合)
- ESSO-LM をシャットダウンします。
- デスクトップを正常にロックするアクティビティが実行されると、ESSO-KM がそのセッションをロックします。
- Ctrl + Alt + Delete

次の方法でセッションをロック解除します。

- スマートカード、近接カードその他の存在検出認証方式を使った構成では、強力な認証方式を検知する（リーダーに挿入されたか範囲内にある）と、ESSO-KM は自動的にセッションを開始します。
- 現在のセッションをロック解除するには、デスクトップ マネージャ から、名前を選択して資格情報を再入力します。